

生涯教育研修活動報告書

細胞検査研究班

- 1 実施日時：2024年9月12日 18時00分～19時30分
- 2 会場：Web開催 教科・点数：専門教科－20点
- 3 主題：2024年認定試験直前!! スライドセミナー 第1弾
- 4 講師：瀬山 良美（社会医療法人財団石心会 埼玉石心会病院）
銅山 雄太（さいたま赤十字病院）
杵渕 雅彦（さいたま市立病院）
- 5 協賛：なし
- 6 参加人数：会員 184名 賛助会員 0名 非会員 1名 学生 49名
- 7 出席した研究班班員：鶴岡慎悟 船津靖亮 急式政志 野本伊織 猪山和美 稲山拓司
小川弘美 並木幸子 加藤智美 中山美咲

8 研修内容の概要・感想など

本研修会は、細胞検査士認定試験の受験者向けに試験対策や、有資格者の細胞像の復習を目的として毎年開催されています。第1弾となった今回の研修では、婦人科、呼吸器、乳腺・甲状腺・リンパ節の領域から合計30問の設問形式で細胞像写真を提示し、各領域を担当する講師が解説を行った。

婦人科領域では、瀬山氏が解説を担当し、認定試験で頻出する子宮頸部の扁平上皮病変や腺上皮病変、子宮内膜病変、卵巣病変などを取り上げました。良性から悪性までの前癌病変や上皮内病変における細胞像を並列して比較することで、各病変の細胞所見の違いを明確に理解できる内容となった。

呼吸器領域は、銅山氏が担当し、扁平上皮癌（角化型と非角化型）や腺癌（原発性および転移性）、小細胞癌など多岐にわたる細胞像が解説されました。さらに、アスペルギルスやクリプトコッカス、ノカルジアといった真菌や細菌感染症の細胞像も提示され、実試験に即した実践的な内容であった。

乳腺・甲状腺・リンパ節領域では、杵渕氏が過去9年間の出題傾向に基づき、頻出する組織型について解説しました。各臓器の癌取り扱い規約を軸に、臨床的背景や組織像を交えた特徴的な細胞所見が丁寧に解説され、筆記試験と実技試験の両方をカバーする充実した内容

でした。

この研修会は毎年シリーズ化して開催されており、解説者が異なることで新たな視点からの細胞像へのアプローチが可能となり、同じ組織型でも施設ごとに異なる検体処理法や染色法の違いを学ぶことができた。教科書やアトラス集では学べない、多彩な細胞像を確認できる貴重な機会となった。

提出日：2024年9月17日

文責：小川弘美